

地域と学校をつなぐ～地域学校協働活動推進員の活躍～

山口県教育委員会企画、山口放送制作の番組「はつらつ山口っ子」の第1回が上記タイトルで放映されました。地域と学校が連携して地域全体で子どもたちの成長をささえていくことが求められる中、地域と学校の連絡調整や情報の共有、新しい取組の企画などの役割を担うのが地域学校協働活動推進員という立場の人です。本市では令和4年度から委嘱し、各小・中学校に配置しています。番組では、竜王中学校と萩市立須佐中学校の地域学校協働活動推進員の取組が紹介されました。これまでも竜王中学校の生徒たちは地域の魅力発信に取り組んできました。この度、地域学校協働活動推進員が、生徒会執行部に地元の観光地の活制化を図るための案を出してほしいと依頼され、生徒からは、花壇を整備する、スタンプラリーをするなどの案が出ました。その際に、生徒たちにある程度任せ、自分たちがやらないといけないという気持ちを育てることが大切だと話されました。生徒たちも、地域に自分たちの意見が反映されると竜王中としての誇りになるし、活動する上での自信にもなり、感動すると思うと答えていました。このような取組は、地域資源を生かして郷土への誇りや愛着を育み、子どもの豊かな学びや育ちを実現していく好事例と言えます。



力発信に取り組んできました。この度、地域学校協働活動推進員が、生徒会執行部に地元の観光地の活制化を図るための案を出してほしいと依頼され、生徒からは、花壇を整備する、スタンプラリーをするなどの案が出ました。その際に、生徒たちにある程度任せ、自分

たちがやらないといけないという気持ちを育てることが大切だと話されました。生徒たちも、地域に自分たちの意見が反映されると竜王中としての誇りになるし、活動する上での自信にもなり、感動すると思うと答えていました。このような取組は、地域資源を生かして郷土への誇りや愛着を育み、子どもの豊かな学びや育ちを実現していく好事例と言えます。

再放送は7月16日（日）午前10:55～11:10です。

第1回地域連携教育戦略会議

地域連携教育を推進するにあたり、本市の課題解決に向けた取組の検証及び改善を行うために、CSチーフ、県教委、市教委、小・中学校代表校長による戦略会議を開催しました。今年度の重点取組事項として、

①地域と小・中学校を通じた9年間の「学校・地域連携カリキュラム」の見直しと改善、②地域資源を活用

したふるさとを愛する心の育成、③「地域学校協働活動推進員」の資質向上及び連携強化に向けた研修機会の提供を推進してまいります。そして、そのための推進指標としては、

①「学校・地域連携カリキュラム」の協議の場の設定100%、②地域住民と児童生徒がともに考える場の設定90%以上、③学校・地域の課題について協議する場の設定90%以上、④児童生徒の地域ボランティア活動への参加80%以上、⑤地域学校協働活動推進員の認知度90%以上を掲げています。会議では、学校・地域連携カリキュラムの見直しの視点や地域力のアップ、学校支援をする際の留意点などについて活発に意見が出されました。



各学校・地域交流センター等の地域連携教育や特色ある取組・活動の情報をお寄せください。

スクールアドバイザー 中村達実 Tel82-1188 E-mail: samurai@edu.cty-so.jp